

びわ南小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			難波橋下流100m付近 No.1				高山キャンプ場 No.2				No.3			
月 日 時 刻			6月8日 13時30分				6月22日 10時00分							
天 気			曇り				晴れ							
水 温 (°C)			23.0 °C				17.0 °C							
気 温 (°C)			23.0 °C				25.0 °C							
川 幅 (m)			10.0 m				3.0 m							
河 川 名			姉川				草野川							
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面							
水 深 (cm)			80.0 cm				20.0 cm							
流 速 (cm / s)			13.0 cm/s				30.0 cm/s							
水 の よう す			指標生物											
I き れ い	1	カワゲラ類					○							
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類												
	3	ヒラタゲロウ類					○							
	4	ブユ類					○							
	5	ヘビトンボ類	○				○							
	6	ガガンボ類					○							
	7	サワガニ	○				○							
I・II 共通	8	ウスムシ類					○							
	9	2以外のトビケラ類	●				●							
	10	3、14以外のカゲロウ類	○											
II 少しよごれている	11	ヒラタヘロムシ類												
	12	シジミ類												
II・III 共通	13	カワニナ												
III よごれている	14	サホコカゲロウ	○											
	15	ヒル類												
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ	○											
	20	イトミミズ類	○				○							
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	4	2	1	2	8	2		1				
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	1			1	1						
	合 計 (1欄+2欄)		5	3	1	2	9	3		1				
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I				I							

調査考察、活動内容等

1 びわ南小学校水生生物調査隊（「みずすまし」）について

本校の水生生物調査隊は、4年生全員 48 名で活動しています。1 学期の総合的な学習において、学区内の姉川（難波橋下流 100m 付近）と学区内を流れる姉川の上流である草野川を調査し、水環境についての学習を行いました。



2 調査結果について

① 姉川（難波橋下流 100m 付近）



6 月 8 日に運動場北側にある姉川（難波橋下流 100m 付近）に調査に出かけました。川の水は、前日までの雨によって増水していました。この日は、学年活動で、家の人といっしょに川の生き物調べをしました。元びわ南小学校長の八木先生と、湖北野鳥センターの植田先生に講師を依頼し、調査の前に水生生物を調査する目的や生き物を上手につかまえる網やザルの使い方などを教えていただきました。

右の写真の姉川（難波橋下流 100m 付近）は、前日までの雨により、川幅が 10m 水深 80cm ほどになっていました。水が増水していたため急遽少し場所を移動して観察を行いました。増水が心配されましたが、思った以上に多くの水生生物や魚がとれてびっくりしました。

採取した生き物は、グループごとにその場でトレイに分類しました。

結果は、以下の通りでした。

- ・ 一番多く採れたのは、トビケラ類。
- ・ ヘビトンボ類、サワガニときれいな水にしかすまない生き物が多くとれた。
- ・ ヨシノボリやドンコ、スッポンもとれた。

結果を分析すると、総合的に見て、姉川（難波橋下流 100m 付近）の水は、とてもきれいな水だということがわかりました。



【児童の感想から】

* 水生生物観察会では、スジエビ、ヌマエビ、ハグロトンボ、メダカなどをつかまえました。また、絶めつきぐ種のウツセミカジカとシマドジョウもつかまえることができて、とてもうれしかったです。最初はなかなかつかまえられなかったけれど、友だちに生き物がとりやすい場所を教えてもらい、あみを使ってとれました。わたしは、水生生物かんさつ会で姉川へ行って、姉川にはいろいろな生き物がいることが分かりました。

* 水生生物の観察会で、1番うれしかったことは、お父さんとわたしで、協力してなまずの赤ちゃんをつかまえたことです。お父さんは、班の人にも、ちがう班の人にもおしえてあげてやさしいと思いました。わたしもお父さんにつかまえたを教えてもらい、たくさんの水生生物つかまえることができました。この体験を通して、お魚をつかまえることがとてもすきになりました。



② 草野川上流

6月22日の「やまのこ合宿」では、高山キャンプ場内の草野川上流の生き物調べを行いました。草野川は学区を流れる姉川の上流でもあります。天候は曇り、気温は6月としては25度と大変暑かったですが、水温は17度と低く川に入ると汗がひいて気持ちよかったです。自然に囲まれた中で大きな石や砂利があり、少し深くなっているところや浅くて流れが速いところなど、さまざまでした。石をめくると、多くの水生生物が簡単に見つかり、びっくりしました。



グループごとに集めた水生生物を、生き物集計シートと照らし合わせて分類しました。その結果次のような結果がみえてきました。

- ・ トビケラ類、カゲロウ類、カワゲラ類、ヘビトンボなど、きれいな水にすむ生き物が、45分間でなんと267匹採取できた。
- ・ そのうちかげろう類は128匹であった。

結果を分析すると、草野川上流は予想通りきれいな水の川であることがわかりました。



3 まとめ

○水生生物調査は初めてという児童が多く、そこにすむ水生生物の種類を調べることで、川がきれいかどうか分かることに興味を持った児童が多く見られました。また、1回目の調査は、講師の八木先生と植田先生に専門的な立場からお話をしていただいたことで、より一層有意義な活動ができました。

○今年も、姉川（難波橋下流 100m）を調査したことで、「やまのこ合宿」での草野川の調査を通して、姉川の上流と下流の周辺の環境や生き物、水のきれいさなどを比較することで、学習が大変深まったように思いました。

○8月に実施されたみずずまし交流会や、12月に行われたびわ地区の活動発表会では、希望した代表児童が、たくさんの方の前で発表しました。学年全体で発表を聞いてアドバイスしたり、聞きやすい話し方を考えたりしたことも含め、代表児童にはよい経験の場となりました。

